

平成29年度地方創生ストリートミーティング【女性起業家編】
意見と回答・対応方針

No.	ご意見・ご要望	各課回答・対応方針	担当課
1	鳥取県は平成27年度から木育推進事業を始めている。鳥取市でもやっていただきたい。	本市では、従来から学校緑化事業や「緑の少年団」の活動に対する助成を行っています。また、本年度より、市内の保育園・幼稚園の園児を対象に森林の持つ様々な役割や大切さを伝え、教える「森の教室」を始めました。現在、4園に実施し、ご好評をいただいています。今後も、教室を希望される園に対し、順次実施する予定です。	林務水産課
2	鳥取市でギャラリーがどんどん閉鎖している。芸術・文化を発表する場を確保してほしい。	本市では、市民の皆さんの文化芸術作品を発表し、鑑賞する場として、毎年「鳥取市民美術展」を開催しています。鳥取県東部に在住し、中学生以上の方であれば、出品できますので多くの皆さんの出品をお待ちしています。また、商店街のショーウィンドウや空きスペース等を活用し、書道や絵画などの美術作品等を展示する「まちなか美術展（仮称）」を試行的に開催するなど、文化芸術に親しむ環境づくりに取り組んでいきたいと考えています。	文化交流課
3	特に土日の若桜街道が閑散としている。自分のやりたいことや、やっていることをアピールする場として空き店舗を活用してみてもどうか。	本市では、空き店舗の利活用を通じて、起業したい人などがまちなかでチャレンジしやすい環境づくりに取り組むこととしています。不動産オーナーへの啓発や民間まちづくり会社と連携して、これらの機運の醸成や場の創出に取り組んでいきます。	中心市街地整備課
4	空き物件の看板は外せないか。あれがあると町のイメージが悪い。市が借り上げて気軽に活用できるようにしては。	市は関連機関と連携して事業所の開設等、努力を重ねていますが、市だけでは借り上げに限りもあり、民間まちづくり事業に投融資を行い、民間活力でのリノベーションを駆使したまちづくりを推進します。	経済・雇用戦略課

○その他意見

- ・鳥取は自然豊かで何も無いのがいいと思う反面、芸術・文化的活動を行うには環境的に難しい。
- ・企業や事業主がもっと従業員のストレスケア・メンタルヘルスを積極的に取り組む必要がある。
- ・子どもと一緒に出勤できる会社があると女性としては働きやすい。